

わかばやし のぶ
若林暢

チャリティーコンサートシリーズ 1

ピアニスト アルバート・ロト氏と
ベルリンフィルの
4人の弦楽奏者を迎えて



若林 暢
Violin

R.シューマン:ピアノ5重奏曲 変ホ長調 作品44
R. Schumann: Piano Quintet in E-flat Major Op. 44

J.ブラームス:ピアノ4重奏曲 ト短調 作品25
J. Brahms: Piano Quartet in g minor Op. 25
他

(演奏作品は当日変更になる場合がございますので、ご了承ください)

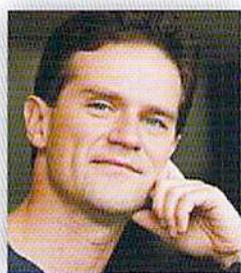
Berliner Philharmoniker Athenaeum String Quartet



アルバート・ロト
Piano



ローレンス・ディンカ
1st Violin



ステファン・シュルツ
2nd Violin



ワルター・ケスナー
Viola



クリストフ・イーゲルブリック
Cello

2009.10.28 (水) 開場18:30 開演19:00

大田文化の森 ホール

前売:3,500円 当日:4,000円 (学生:2,000円・要学生証)

主催:ミューズの会 090-4063-8851

協力:若林暢さんのコンサートを応援する会 090-7717-4810

後援:NPO法人市民活動推進機構 03-5753-3860

NGO希望の学校



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分
■ 東急池上線池上駅より東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
■ JR大森駅(西口)より東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
■ JR蒲田駅(西口)東急バス大井町行き 荏原駅入り口行きに乗車



わかばやし のぶ
若林 暢(ヴァイオリン)

Nobu Wakabayashi

“…そこには、息をのむ力強さと澄みきった音が「静かな神の啓示」をほうふつさせる瞬間がある。これは…創造性に富み…人生に潤いを与えてくれる、真の音楽である。”

BBC ミュージックマガジン

(若林暢 アイヴズ:ヴァイオリン・ソナタ全曲集のCD評より)

東京芸術大学、同大学院を経てジュリアード音楽院卒。1995年「音楽に登場する悪魔」の論文で博士号を取得。N.Y. タイムズ紙等で高い評価を受けたカーネギーホールでのデビューリサイタル以後、バルセロナ市立管弦楽団等のオーケストラと共演の他、ドイツ、イギリス、イタリア等欧米各地で演奏活動を行う。イギリスの PICKWICK 社から出されたデビュー CD「ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ全集」はデイリーテレグラフ紙で“The CD of the Week”に選ばれるなど、欧米各誌で話題となる。また西ドイツ放送協会でもシリーズ録音を行っており「アイヴズ:ヴァイオリン・ソナタ全集」を完成、ARTE NOVA Classics からその CD がインターナショナル・リリースされ、日本でも新聞、雑誌等で紹介される。ニューヨークの国際芸術家コンクール、ヴィニャフスキコンクール、モントリオールコンクール等国際コンクールでの優勝、入賞も多い。また最近ではテレビやラジオなどでの、演奏をまじえてクラシック音楽をわかりやすく解説するトークも好評。アメリカのボードインサマーミュージックフェスティバル、なら国際アカデミー等に出演、後進の指導にもあたっている。ヴァイオリンを D. ティレイ、E. ヴァルディ、海野義雄、田中千香土の各氏に、室内楽を F. ガリミア、J. ラタイナー、J. サックスの各氏に、音楽理論を M. ホワイト、R. フレンチの各氏に師事。

アルバート・ロト(ピアノ)

Albert Lotto

1946年ニューヨークに生まれる。1965年モントリオール国際コンクール優勝、1966年ブゾニ国際コンクールで金賞。1979年「アイヴズの作品と哲学について」の研究で博士号を授与された。親日家であり 1979年以來毎年のように来日している。「大文字国際交流音楽祭」「なら国際音楽アカデミー」などに参加。彼の手から紡ぎ出されるピアノの音は、ベルカント唱法のように張りのある艶やかな響きが特徴。ピアノニッシモに至るまで、詩情あふれる美しい音楽は聴く人の心を捕らえて放さない。また彼ははずば抜けた心・技の持ち主で感性も鋭く、室内楽奏者としても卓越した天才型ピアニストである。ニューヨーク在住。

ベルリンフィルのメンバーによる Athenaeum String Quartet

ベルリンフィルハーモニー・アテネウムカルテットは、1990年にベルリンフィルの4人のメンバーにより設立された。このカルテットのデビューコンサートには、世界の巨匠ユーディ・メニューインとジョルジュ・エネスコの作品を共演するなど、彼等は古典派、ロマン派だけでなく、現代音楽にも意欲的に取り組んでいる。このカルテットはベルリンでの定期演奏会の他、世界各地で演奏活動を行っている。1995年以降は、ザルツブルグでのフェスティバルにも、毎年招待されて彼等の演奏会が行なわれ多くのファンを魅了している。又彼等はベルリンフィルハーモニー・ストリングオーケストラのメンバーでもあり、セクションリーダーもそれぞれ勤めている。

ローレンス・ディンカ(第一ヴァイオリン) Laurentius Dinca

ルーマニアに生まれる。ルーマニア国立ブカレスト音楽大学で学んだ後、奨学金を得て西ドイツのリューベック音楽院で学ぶ。1980年にフランクフルト・ラジオシンフォニーオーケストラのコンサートマスターに就任し、1984年よりベルリンフィルハーモニー管弦楽団に入団。ベルリンフィル10人のヴァイオリニストのメンバーとしても活躍する。

ステファン・シュルツ(第二ヴァイオリン) Stephan Schulze

ドイツのミュンヘンに生まれる。ミュンヘン国立音楽大学、ベルリン国立音楽大学を卒業後、ハンブルグ・ラジオシンフォニーを経て、1983年からベルリンフィルハーモニー管弦楽団に入団する。世界各地で室内楽の演奏活動も数多く行う。ベルリンフィル10人のヴァイオリニストのメンバーとして活躍中。

ワルター・ケスナー(ヴィオラ)

Walter Kussner

ドイツのミュンスターに生まれ。デュッセルドルフ国立音楽大学で学び、ニューヨークに渡り名手キム・カシュカシアンにも師事する。1987年にミュンヘンのラジオシンフォニーに入団し、1989年ベルリンフィルハーモニー管弦楽団に入団する。世界各地で室内楽の演奏活動を行い、ベルリンのハンスアイスラー音楽大学の客員教授も務める。

クリストフ・イーゲルブリンク(チェロ) Christoph Igelbrink

デュッセルドルフ国立ロバート・シューマン音楽大学で学んだ後、ハンブルグ国立音楽大学のマスタークラスで学び、ドイツアーティスト賞など受賞。1986年ハンブルグフィルハーモニー管弦楽団に入団し 1989年からベルリンフィルハーモニー管弦楽団に入団。世界中で注目される「ベルリンフィル12人のチェリスト達」のメンバーとしても活躍中。

ごあいさつ

第一回若林暢チャリティーコンサートで皆様から御協力いただきますチャリティー募金および収益は、「NGO 希望の学校」と「NPO 法人市民活動推進機構」に寄付させていただきます。友情出演を快くお引き受け下さいましたアルバート・ロト氏とベルリン・フィルのアテネウム・カルテットの方々に感謝申し上げます。